

令和6年度市長とのタウンミーティング実施結果

1 参加人数

日 時	会 場	会 場 参加人数	オンライン 参加人数
7月21日(日) 10時～	生石研修センター	19人	52人
7月21日(日) 14時～	北浜地域交流センター	12人	20人
7月28日(日) 10時～	ユーアイ帆っとセンター	20人	18人
7月28日(日) 15時30分～	高砂市役所分庁舎	14人	21人
小計		65人	111人
合計			176人

(参考) 令和5年度

地 区	会場参加人数
荒井	10人
阿弥陀	17人
伊保	10人
中筋	12人
曽根	13人
高砂	26人
米田	17人
北浜	26人
合 計	131人

2 アンケート結果(回答数70件、オンライン含む)

※パーセントは小数点第2位を四捨五入

(1) お住まいの地区

高砂	荒井	伊保	中筋	曽根	米田	阿弥陀	北浜	市外	合計
14人	9人	6人	1人	2人	19人	7人	11人	1人	70人

(2) 参加者のご年齢

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	合計
1人	3人	5人	4人	10人	16人	31人	70人
(1.4%)	(4.3%)	(7.1%)	(5.7%)	(14.3%)	(22.9%)	(44.3%)	

(参考) 令和5年度

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
1人	4人	2人	8人	14人	50人	52人	131人
(0.8%)	(3.1%)	(1.5%)	(6.1%)	(10.7%)	(38.2%)	(39.7%)	

(3) 市長とのタウンミーティングはよかったですか。(5段階評価)

悪かった 1	2	どちらでもない 3	4	良かった 5	無回答	合計
3人	2人	22人	18人	22人	3人	70人
(4.2%)	(2.9%)	(31.4%)	(25.7%)	(31.4%)	(4.3%)	

(参考) 令和5年度

悪かった 1	2	どちらでもない 3	4	良かった 5	無回答	計
4人	6人	27人	51人	35人	8人	131人
(3.1%)	(4.6%)	(20.6%)	(38.9%)	(26.7%)	(6.1%)	

(4) 市長とのタウンミーティングの時間はどうでしたか。(5段階評価)

短い 1	2	適度 3	4	長い 5	無回答	合計
17人	15人	30人	2人	2人	4人	70人
(24.3%)	(21.4%)	(42.9%)	(2.9%)	(2.9%)	(5.7%)	

(参考) 令和5年度

短い 1	2	適度 3	4	長い 5	無回答	計
17人	20人	75人	12人	1人	6人	131人
(13.0%)	(15.3%)	(57.3%)	(9.2%)	(0.8%)	(4.6%)	

3 各会場でのご意見（概要）

各会場で出たご意見等に対して、当日市長が回答した内容及び対応方針をまとめました。
なお、対応方針は、令和6年8月末現在です。

テーマ「教育」「駅周辺整備」

（1）生石研修センター

ご意見	市長回答	対応方針
教育振興基本計画作成について、総合教育会議の構成員に学校現場の人は入るのか。	総合教育会議の委員のメンバーは、元教育者、医療関係者、文化関係者などで構成されている。 (教育部長) 教師、校長、保育園長、大学教授、PTA や学校関係者、一般公募委員で構成した検討委員会でも協議している。	【教育部】 部長回答のとおり
不登校児童生徒のサポート体制として、プロの人がどれほどいて、どれほどの人数の生徒を見ているのか教えてほしい。	(学校教育課) のびのび教室には、教育関係の 0B を中心に相談員が2名配置されている。昨年度実績として 40 名程度の児童生徒が利用した。7月から開始したのびのび教室サテライトでは、広く一般の方からも募集し、研修でのスキルアップも考えている。	【教育部】 のびのび教室及びサテライト教室には不登校問題等相談員を配置し、不登校児童生徒の支援や相談に対応している。また、県の研修等を受け専門性の向上を図っている。今後も継続して対応にしていく。
JR 曾根駅について。エレベーターと階段はつくが、エスカレーターはなしということではよかったか。	エスカレーターの設置ができず、階段とエレベーターで対応させていただきたい。	【都市創造部】 新たに整備する J R 曾根駅の自由通路にはエスカレーターは設置しない。階段とエレベーターをご利用いただきたい。
JR 曾根駅の改札について。改札はひとつしかないのか。	JR 側と協議する中で、中央から出入りできるような形で	【都市創造部】 J R と協議した結果、新たに

ご意見	市長回答	対応方針
	きないかと要望したが、JR 側から難しいと回答を受けた。南側からの階段とエレベーターで北側の改札に渡る形になった。	整備する自由通路の北側の2階部分に新しい改札口が設置される。改札口は1箇所の予定である。
現場の学校でいかに不登校の子を出さない教育をするかの方が大事だと思う。教員不足の問題、指導内容も以前に比べたら随分増えている。現場の教育施策をどのように考えているか。	学校現場の相談体制などの環境整備が大変重要だと認識している。教育委員会、各小・中学校長の方でも様々考えながら進めている。教育長とも密に連携し現場の状況把握に努めている。	【教育部】 児童生徒にとって学校が安全・安心な場所であるための「魅力ある学校づくり」と「分かりやすい授業」の工夫に継続して取り組んでいく。
給食費の無償化は考えていないか。	無償化すると、年間数億円かかる見込み。ほかに先行してすべき事業がある。小中学校の校舎が老朽化している状況もあり、こどもたちの安全な教育環境をまず優先したい。国や県に給食費の無償化について要望している。	【教育部】 市長回答のとおり。 国や県の動向を注視していく。
給食費の無償化のほかに優先すべき事業とはなにか。	教育関係だけでなく、他の事業にも予算配分して進めていく必要があるので、選択をさせていただいている。	
学校給食をおかわりすることについて、時間内に食べきれなかったら3日間おかわり禁止とか、あるいは量を半分にするとか、そういうことが現場であるらしい。同じ給食費を払っているのに不公平。	具体的な現場の状況報告を受けていないので、確認し、教育長とも相談して進めさせていただく。	【教育部】 一人当たりの配膳量は平等であるが、一人一人が無理をせず食べられる量に応じて、喫食量の調整を行うようにしている。
昔はなかった不登校が今は増えている。こどもというのは社会の状況の反映だと考える。市長の政治家としての考え方、高砂市をどういう社会にしていきたいのかお聞きし	核家族化が進んだこと、社会情勢の変化、いろんなことが要因として挙げられると思う。市としては教育現場、教育環境の整備をし、不登校の児童生徒が増えないことをまず	【教育部】 日頃から児童生徒との信頼関係を築き、欠席、早退、遅刻、保健室来室の状況、友人関係の変化等、児童生徒が発するサインを見逃さないように努

ご意見	市長回答	対応方針
たい。	考え、しっかりと相談できる体制をつくり、こどもにも寄り添える教育現場を考えていく必要があると思っている。	め、組織的に早期発見・早期対応を図っている。今後も取組を継続していく。
教育現場の人手不足は深刻で現場の先生は疲弊しきっている。国や県に頼らず、市の予算で人手不足を解消し、現場の教員を増やす、手伝いできる人を増やすなどの施策をぜひお願いしたい。	教員 0B に協力を依頼することや、スクールサポートについても、市として予算化に向け、教育委員会とも相談しながら進めていきたい。	【教育部】 現在、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ALT（外国語指導助手）、スクールアシスタント、スクールサポートスタッフ等を配置している。多様な専門性のあるスタッフの適正配置を図りながら、専門性に基づいた業務や校務を補助することにより、個に応じた指導・支援を行うとともに、教職員の負担軽減を努めていく。 また、各地域、学校の実情に応じて地域人材を活用することにより、教職員の負担軽減を図る。
米田こども園の近くに樹齢 300 年を超えるほどの大木があった。高砂市の指定保存樹木になっていたはずだが昨年伐採されてしまい非常に残念。	（教育部長） 当該樹木については、中が空洞になっており、かなり危険な状態だった。危険を回避するために伐採させていただいた。	【教育部】 部長回答のとおり
高砂駅前の買い物難民問題について、どう思われているか。	市長就任以来、高砂駅前の商業施設跡地の土地を購入した企業と再三交渉させていただいている。要望書も出した。今後も粘り強く交渉を進める。	【生活環境部】 高砂駅前の商業施設跡地の利用については、早期の計画の公表と早期着手を引き続き企業に対して要請し、進展があれば市民、市議会に報告していく。 買い物支援については、市民ニーズの把握に努めるとともに、検討を行っている移動販

ご意見	市長回答	対応方針
		売に関する事業者へのヒアリングや他自治体の事例研究を行い、事業化について引き続き検討していく。
南海トラフ地震が近いといわれている。高砂市は総合防災訓練を15年ぐらい前から毎年実施しているが、内容の見直しをしてはどうか。	総合防災訓練の見直しについては、担当部署と協議しながら、最善のやり方でさせていただく。	【総務部】 総合防災訓練の内容は、各地区と協議を行いながら検討しており、近年では、避難所運営訓練の充実を図っている。その他の訓練についても地域の実情を踏まえながら、必要な見直しを行っていく。
耳が悪く、市の放送が全く聞こえない。家の中にいても聞こえるようなシステムも検討してほしい。	スマホで情報発信もしている。情報を受け取りやすい環境整備については、今後も考えながら進めていく。	【総務部】 防災行政無線の放送内容を自宅内でも確認できるよう、スマートフォンアプリを使った「たかさご防災アラート」を整備し、文字情報に加え音声情報でも放送内容を確認できるようにしている。また、避難情報など緊急を要する放送内容については、聴覚や視覚に障がいがある方などを対象に電話やFAXで伝達するサービスも整備しており、これらの仕組みについては、広報たかさご等を通じて周知を図っている。 引き続き、あらゆる機会を活用しながら、これらの情報伝達手段の周知を図っていく。
排ガスのせいか松村川の桜の木が、大分傷んでいる。綺麗な桜になるよう努力していただきたい。要望なので回答は不要。	(回答なし)	(回答なし)

(2) 北浜地域交流センター

ご意見	市長回答	対応方針
JR 宝殿駅の北側の対応状況は いかがか。	JR 宝殿駅の北側はロータリー や民間の駐車場も含め整備が 進んでいる。	【都市創造部】 現時点では、新たな整備等は 考えていない。
鹿島中学校の通学路につい て、北浜のトンネルからの安 全を確保してほしい。大塩駅 曾根線が手つかず。大塩駅周 辺の都市計画を姫路市と連携 して取り組んでほしい。 回答は不要。	将来に向けて、ご意見いただ いた。ひとつずつ進めていき たい。	(回答なし)
学校の再編整備について聞き たい。市長と教育委員会とが 協力しながら進めていってほ しい。	教育の在り方については、小 中学校の整備も含めて、地域 の方々にご協力いただきなが ら、教育委員会とも連携しな がら進めていく。	【教育部】 新たな学校づくり推進計画を 現在策定作業中である。当該 計画では、地域とともにある 学校施設の安全安心を確保 し、将来を担う児童生徒に最 適な教育環境を持続的に提供 することを目的に、高砂市に おける学校の適正な規模や配 置、校区再編、計画策定後 20 年間の学校施設の整備基準等 を定める計画である。市長部 局と連携し検討を進めて参り たい。
災害に強いまちづくりをお願 いしたい。がけ崩れの件も工 事を早急に進めて頂きたい。	現在、兵庫県の方と協議を進 めている。早急に取り組む。	【都市創造部】 県とは事業化にむけて協議を 進めており、市は事業に必要 な経費を予算化していく。
じょうとんバスの廃止で高齢 者が外出するのに苦慮してい る。高齢化が進むエリアが取り 残されないよう対応をお願い したい。	令和 6 年から 7 年にかけて地 域公共交通の基本計画を作る 予定。計画策定の中で小型車 両での移動支援ができないか 検討している。	【都市創造部】 地域公共交通計画を策定する 中で、交通不便地における移 動支援対策を検討していく。

ご意見	市長回答	対応方針
牛谷団地南側の溝の詰まりの対処又は整備をお願いしたい。	(都市創造部長) 現場を確認させていただいた上で、対応を考えたい。	【都市創造部】 同左
天川土手の草刈りについて兵庫県が対応しているとのことだが、市の方でも対応していただけないか。	(都市創造部長) 管理は兵庫県が行っている。市も現場立ち合いするなどして確認していきたい。	【都市創造部】 同左
移動支援に関して、社会福祉協議会と共に病院送迎を検討しているが、市から小型バス(バン)の提供をしてもらえないか。	公共交通の基本計画を作っていく中で検討していきたい。本日の話は要望として持ち帰らせていただく。	【福祉部】 小型バス(バン)の提供については、地域支え合いづくり協議会の検討の中で挙げられた課題と合わせて公共交通担当部局と情報共有していくとともに公共交通計画策定へ参画する。
		【都市創造部】 地域公共交通計画を策定する中で、交通不便地における移動支援対策を検討していく。
北浜隧道について、こどもたちが通るのに道が狭い、ガードレールをもう少し頑丈なものにできないか。	LED照明など、できる限りの対策はさせていただいているが、市としては将来的になんらかの方向性を示さないといけないと考えている。安全安心な隧道の確保を担当と取り組んでいきたい。	【都市創造部】 通学路合同点検で警察、学校、PTA等の意見を聞き、可能な安全対策に取り組んでいる。

(3) ユーアイ帆っとセンター

ご意見	市長回答	対応方針
JR 曾根駅整備のスケジュールについて詳しく聞きたい。	JR 西日本と今年6月に基本協定を結んだ。これから実施設計に入り、令和10年の春ごろ供用開始という計画で進めている。	【都市創造部】 同左
物事を進めるにはスケジュールが大事。4年後は、どこまで進めようとしているか、市長選挙のときに我々が評価できるものを示してもらいたい。	高砂駅近くの商業跡地については継続して交渉する。連続立体交差事業の計画と合わせて高砂駅南側の開発も進めていくことが商業施設跡地の開発にも繋がっていくと考えている。4年では現状が変わらないかもしれないが、政策的なことは少しずつでも進める。	【生活環境部】 高砂駅前の商業施設跡地の利用については、早期の計画の公表と早期着手を引き続き企業に対して要請し、進展があれば市民、市議会に報告していく。
駅周辺に民間企業が出店してこないのは街にポテンシャルがないから。力をつけるのが大事。我々が買い物をしなくなったから商業施設が撤退した。		
教育に関して。9年間でこどもが育つようにしてほしい。高砂は小・中学校が並んでいるだけ。のびのび教室も結局は学校に來なさいと言っているのと同じこと。学校の現場の先生は頑張っている。学校の中に教育の研究所みたいなものを作り、先生をサポートしてあげたらいい。	教育大綱、教育振興基本計画を立てて取り組んでいく。 9年間の教育プログラムを計画し、市外の人から見ても魅力ある学校にしていきたい。	【教育部】 現在第4次教育振興基本計画の策定作業中であるが、小中一貫教育については主要な取組として盛り込めるよう検討している。 今後も継続して小中一貫教育に取り組んでまいりたい。
給食費の無償化を進めてほしい。子育て世帯の負担が大きい。	無償化については、国、県に要望している。市としては校舎の老朽化対策など、他の事業にまず予算を割く。	【教育部】 市長回答のとおり。 国や県の動向を注視していく。
学校以外のさまざまな学びの場について。NPO法人など地域住民が運営しているフリース	民間への補助については、今後、のびのび教室だけで対応できるのかどうかなど教育委	【教育部】 現在、のびのび教室及びサテライト教室で対応している。

ご意見	市長回答	対応方針
クールなどの学びの場について市として支援する予定はないか。	員会と相談しながら考えていく。	今後、民間施設との連携について研究を進めていく。
給食費の無償化より小学校を改修することが大事と仰ったが、食べ物、衣服を買えない人が多く、給食だけがまともな食事という家庭もある。給食費を無償にするということは大事な政策だと思う。	色々な考え方がある。高砂市も、給食費は有償だが、中学校の給食センターを整備している。無償化については国、県に要請していく。今現在高砂市としては給食費無償化は考えていない。	【教育部】 市長回答のとおり。 国や県の動向を注視していく。 また、現在低所得世帯に対しては、生活保護や就学援助制度により負担軽減を図っている。
市職員について。資格取得した職員に報奨金を出すのは難しいと思うので、地域手当を上げてあげたい。職員を大事にしてほしい。	(回答なし)	【総務部】 令和6年度から職員資格取得助成制度を開始しており、助成対象資格を取得した者に受験料等の助成を行っている。自己啓発を促進し、職員の能力向上に努める。
公共交通については広域的に検討してほしい。	公共交通の審議会で協議し、計画策定予定。加古川市との連携も含めて協議させていただきたい。	【都市創造部】 地域公共交通計画を策定する中で、加古川市等との連携を含めて検討していく。
高砂町民は、はやく買い物ができるところを作ってほしいと思っている。明石市はこども関係の政策の手厚さで、こどもが多い。駅周辺を整備したところで、福祉を厚くしないと人は来ない。	スーパーの誘致など、要請はしている。行政ができることと、民間の力をどのように行政が導いていくか、あわせて考えていきたい。	【生活環境部】 高砂駅前の商業施設跡地の利用については、早期の計画の公表と早期着手を引き続き企業に対して要請し、進展があれば市民、市議会に報告していく。 買い物支援については、市民ニーズの把握に努めるとともに、検討を行っている移動販売に関する事業者へのヒアリングや他自治体の事例研究を行い、事業化について引き続き検討していく。

ご意見	市長回答	対応方針
高砂は水道代が安いと昔から言われていたのに、どうして今まで耐震化のためのお金を貯めておかなかったのか。	昨年 30%料金を上げたことによって、耐震化を計画的に実施していく。	【上下水道部】 これまで下水道の普及や浸水対策事業を最重点施策として行ってきたため水道施設の更新が遅れている。 このため安い水道料金で経営できていたが、今後、計画的に水道施設の耐震化対策を行っていくため料金改定をお願いした。 安全・安心な水を安定的に供給するため、耐震化工事を行い、災害に強い水道管の整備を加速させていく。
高砂市民病院に産婦人科がない。小児科の充実もしてほしい。	産婦人科の減少が進んでいる状況で、市内でも1カ所のみ。状況の解消、小児科の病院の整備についても今後将来的には進めていく必要があると考えている。	【市民病院】 産科については、医師不足から休止としているところである。産婦人科については、ニーズがあると認識しているが、加古川中央市民病院を拠点病院として、大学が東播磨圏域においては医師派遣を集中的に行っている状況から、当院への大学からの医師派遣は難しい状況である。 小児科については、非常勤医師2名により、外来診察は十分に行える状況である。常勤医師については、産婦人科と同様に当院への医師派遣は難しい状況である。
米田公民館を利用していたが、地域交流センターに移行してから住民票がとれなくなってしまった。住民票をすぐとれるようにしてほしい。	マイナンバーカードを活用してコンビニでも住民票がとれるようになっている。イオン高砂の市民サービスコーナーでも取得できる。	【市民部】 同左

ご意見	市長回答	対応方針
市長選に出られたときに、人口 10 万人都市を目指すと言っていたが、今も 10 万人にこだわられているか。	総合計画で 8 万 4 千人という目標を示している。今は転出抑制を進めている。駅周辺整備を進めることで転出抑制を進め、住みよいまちづくりをすすめることが魅力あるまちづくりにつながると考える。	【政策部】 全国的に人口減少が見込まれているなか、「人口減少を緩やかにする」、「人口減少社会においても幸福に暮らせるまちづくりを進める」ことが重要である。 特に転出超過が顕著である 20 歳代に住み続けてもらえるよう、都市部への交通拠点、地域の活動基盤等である鉄道駅を中心とした、交通の円滑化や駅前空間の賑わい創出を進めるとともに、令和 8 年度から始まる第 5 次総合計画後期基本計画策定において市民の幸福度につながる方向性の検討を進めていく。
宝殿駅に向かう二号線の横断歩道の 1 か所だけ、歩行者専用の信号機が設置できないと加古川警察に言われた。白杖を使用している知人が困っている。道路の拡幅によって信号機をつけられないか改めて要望したい。	加古川市に要請したい。	【都市創造部】 県道の拡幅整備時に、県や警察に要請していく。
JR 加古川駅から JR 宝殿駅に回送電車が走っている。あの電車を活用したら人口が増えると思う。	回送電車があることは以前から存じている。姫路まで電車を走らせてほしい旨要望している。	【都市創造部】 引き続き、JR に要望していく。

(4) 高砂市役所

ご意見	市長回答	対応方針
教育について。高砂市では、校区以外の小中学校を選択する選択制については議論されたことがあるか。	(教育部長) 高砂市では議論したことはなく、予定もない。高砂小・中学校は一貫教育を行っており、そこには市内全域から行けるようになっている。	【教育部】 市内全域を校区とした高砂小・中学校以外では予定もないが、今後、他市の状況を調査し研究していく。
学校に行くことがしんどくならないためのケアはまだ着手できていない状況か。特別支援教育がなかなか進んでいない印象。 高砂市は学力テストが平均以下であったと聞く。 教育大綱や教育振興計画に、特別支援教育についての施策を入れていただけるか。	計画に盛り込むかをここで明言はできない。学力テストの全国平均のことは認識している。市の全体的な教育をどうするか、教育委員会と連携しながら進めていきたい。	【教育部】 現在第4次教育振興基本計画を策定作業中であり、特別支援教育に関する施策について現在検討を進めている。
特別支援、不登校に関して。先生が個別に心理士に質問できるような、先生がひとりで抱え込まずチームで対応できるような体制が、特別支援に限らず学校全体に必要なと思う。	指導員の人数を増やした。学校全体で支える体制づくりを、教育長、先生方とも話し合っている。	【教育部】 現在、県スクールカウンセラーを市内9校に配置し、残りの学校にも巡回している。また、市スクールカウンセラーも配置している。特別支援教育専門家チーム派遣事業により、緊急時の対応にも備えている。
特別支援教育について具体的な構想はあるか。人材確保や、予算化していただけるかなどお聞きしたい。	特別支援教育の重要性は認識をしている。教育長、教育部と調整もしながら、いただいた意見を受け止めて取り組んでいきたい。	【教育部】 現在、スクールアシスタント・介助員・学校看護師を配置している。年長児や小中学生の実態を把握し、毎年適切に予算化している。
学校給食について。学校給食のメニュー数が減ったり、デザートが軒並み削られたりと	オーガニック、地産地消について、給食でどこまで対応できるか、コスト面も考えなが	【教育部】 現在も行事食として、オーガニックや地産地消を取り入れ

ご意見	市長回答	対応方針
聞いている。差額分で子どもたちに美味しいものを食べさせてあげてほしい。また、全国的にもオーガニック給食が進んでくる。視野に入れてもらえたら。	ら進めていきたい。 (教育部長) 学校給食の喫食分については、支払っていただいている金額は変わっていないが、高騰分(差額分)は市から補填している。必要カロリーは必ず満たす形で計算しているので安心していただきたい。	た給食を提供している。今後コスト面等を考えながら検討を進めていきたい。 高騰(差額)分については、部長回答のとおり。今後も安全・安心で安定的な給食を提供していく。
オーガニック給食が進まないのは、オーガニック食材が確保できないから。農家にオーガニック食材を作ってもらうためには、自分たちが普段からオーガニックのものを選んでいかなければならない。	ウィンウィンでものごとが循環していくことを考えていく必要があると思っている。	【生活環境部】 市の給食担当、農業改良普及センター、農業協同組合などと連携して、オーガニック野菜等の栽培を希望する農家を含む生産農家の育成や栽培技術の高度化を進め、現在市が実施している市内農産物の小学校給食等への提供に取り組むことにより地産地消の推進・定着を目指す。
地球温暖化対策、ゼロカーボンについて。ゼロカーボンに必要なことは、使い捨て文化を減らすこと。エコクリーンピアはりまでのリユース事業を支持している。 市制 70 周年記念のポロシャツについて、意義はわかるが、今年度しか着られず家に眠ってしまったりしないかということが気になった。すでに持っている衣類にワッペンをつけるような方法でもよかったのでは。	そういう考え方もあると思う。 ベビー用品の貸し出しによる意識改革、環境学習をこれからも進めていきたい。環境問題についてもいろんな形で取り組んでいきたい。	【生活環境部】 エコクリーンピアはりまとしては、今後も引き続きベビー用品のリユース事業を始め、リサイクル講座などの環境啓発に努めていく。 【政策部】 ぼっくりんポロシャツは、毎年デザインを変えて職員を中心に自費で共同購入している。 毎年作成しているが、着用はその年限定ではなく、複数年にわたって着用している職員が大半で、市制70周年のポロ

ご意見	市長回答	対応方針
		シャツを来年度以降も着用する職員は多いと考えている。
高砂市民病院再構築のことで。産科医を増やすということを改めて考えてほしい。人口減少につながっていると思う。	高砂市民病院将来構想検討委員会の中で、学識経験者を含め医療関係者にご意見を頂いている。産科医の問題も大きな問題だと思っている。	【市民病院】 産科については、医師不足から休止しているところである。産婦人科については、ニーズがあると認識しているが、加古川中央市民病院を拠点病院として、大学が東播磨圏域においては医師派遣を集中的に行っている状況から、当院への大学からの医師派遣は難しい状況である。
市長は市民病院の経営赤字が4億円を超えたら病院のやり方を考えると仰っていたが今もそうか。前向きな姿勢で頑張るべき。	4億円という一定の判断基準を設けているが、医師確保、経営状況が悪化した場合は経営形態を変えていく必要があると思っている。基本的に、高砂市に病院をなくしてはいけないと考えている。	【政策部】 高砂市民病院将来構想を令和6年1月に策定した。公設公営を維持できるように医師確保をはじめ努力をして、赤字額を減らしていこうとしているところである。 令和7年度までの見込みを含めた決算収支や医師確保対策の状況などを考慮し、原則として令和8年度中に将来予測を行う。なお、明らかに経営状況の好転が見込めない場合、令和8年度を待たずに判断を前倒しすることもある。
本屋の誘致を。	行政として直接動くことは難しい。	【生活環境部】 本屋を誘致するために市として直接動くことはできないが、市内における新規創業者・

ご意見	市長回答	対応方針
		新規出店者に対して、創業者融資保証料補助及び利子補給や空き店舗等活用支援事業補助金、キャッシュレス・DX化支援事業補助金の活用により支援を行うことで幅広い業種の出店を促す。

4 参加者のご意見・ご感想（概要）

アンケートの自由記述に記入いただいた内容です。

1. テーマが高砂市の教育であれば教育長の出席が必要である。
2. 1時間の配分で市長 20 分が実際 30 分
今回初めて参加させていただきました。これまでも実施されていたかもしれませんが今後も引き続き開催していただければと思います。大変参考になりました。ありがとうございました。
すべてにおいて具体策の提示はない。短時間で難しいかも知れないが、教育についての具体策は今後のミーティングで少しぐらいは出すべきでしょう。
・市長、教育長との話し合いに保護者の女性をもっと加えないと、一般論になってしまうので、必ず入れてほしい。 ・先生をもっとふやしてほしい。 ・給食の無償化は絶対にやってほしい。
高砂駅について…駅南側に（賑わいのある側）バスロータリーを作してほしい。北側にバス停があることがわかりにくいので案内板を。 荒井駅…南側に市民病院を移転して、駅直結にしてはどうか。バスロータリーを整備してしょうとんバスの発着点にしてはどうか。 伊保駅・・・踏切拡幅を 曽根駅・・・タクシー乗り場設置 JR 宝殿・・・加古川、姫路間の増発を JR 曽根・・・バスパースが一番遠い所にある。改札近くにしては
時間的に詳しく討論できないのはしかたない。しかし、市長の人柄がわずかにしれてよかった
答がない。あいまいな部分がありました。問題点、課題が山積みですね。 1 対策とスケジュール（何を、いつまでに！どのように！） 2 予算のねん出を考えて下さい。
はじめて参加です。不登校にびっくりです。小学 123 名、中学 161 名 息子家族と同居ですがやはり心配してます。先生方もごくろう様です。
本日出席して一番びっくりした事は不登校の生徒の数が多い事でした。今後地域でも子供にもっと注意を向けて少しでも減少できるよう協力したいと思いました。

高砂市民病院の対応がかたくなるしい。いま、最後を迎えようとしているのに（ホスピス）家族に 会わせなかったり家族から不満の声が聞こえています。
学校給食・・・無償化を実現してほしい。 学校・・・人不足を解消してほしい。市予算を使ってでもしてほしい。
ライブ配信良かったと思います。アーカイブ配信の際には字幕が追加されていると嬉しいなと思 いました（難しければ市長の発言部分のみでも） タウンミーティング内で出た質問で、その場で市長が回答できなかった内容について、後日回答 できるものだけでもまた市長の声で配信していただけると充実しているなど感じます。本当は全 ての日程が終わった後に、この地区ではこのような質問がありました、このように対応中ですよ 現在こうなっていますなどといった配信ができるだけ早めに配信されればすごいと感じます。 （検討していきますなどの回答でも良いと思います。）ご苦労様でした。
JR 曽根駅周辺の改善と活性化に期待している
生配信企画、とても良いと思います。開始時間を忘れていて最後の 10 分だけしか参加できなかつ たので、後で最初から拝見したいと思います。
北浜町ささえ合い作り協議会をよろしくお願いいたします。
曽根駅南口整備計画があることを知った。道路狭いので拡幅し、ロータリーができると良い。 朝通勤時、明姫幹線イオン前西→東行き 左車線からの車の割り込みあり、危険
リアル市長初めてでした。ハンサムボーイですね（笑）お許してください。まだまだ私のようにリ アル市長と接する機会が少ないと思います。本日も空席が目立ちました。この時間をもっと上手 くご活用いただければと思います。あとアンケートもスマホからでも受けられる様にされてはい かがですか？色々勝手な意見ごめんなさい。
市長への手紙については返事を出すべきである
意見したくても中々話せない人や参加出来ない人もいると思う。意見を言うだけなら市長への手 紙で出来るが、意見に対しての市長の認識が知りたい。テーマについての意見は、事前に意見募 集を行って、市長が答える方式にしてはどうか。
播磨臨海地域道路ルート（高砂地区）を再考してほしい
全てよかったと思います。このような会は今後も続けてほしい。ありがとうございました。
高砂駅前再開発のタイムスケジュールを市民に示してほしい！ 市民を交えて商業施設のありか たを検討する。
酷暑の中ですがいつも街路樹が切られています。温暖化の中、緑を増やすことが CO2 を考えても 大事です。子供や高齢者が日陰をさがして歩道を歩いています。落ち葉や広告がみえないとの意 見もあると思いますが、緑豊かなまちづくり、人間にやさしい街にして欲しいです。業者の仕事 としてしているようです。

結局問題点は何一つ解決されていないと感じた。駅周辺整備とサンモール跡地の活用については別問題で考えてもらいたい。特に教育について！ 高砂小学校と高砂中学校をどうしようと思われているのでしょうか？高砂町内の少子化については行政にも責任があると思います。この上、播磨臨海地域道路を高砂小・高砂中の上を通す計画が出されていて今、学校に通っている子供たちは不安な思いを感じています。中一の孫娘は明石の方が良かった！大人になったら明石に住みたいと言っています。高砂市の人口 10 万人どころか人口減少に益々拍車をかける道路計画です。私達高砂市民の思いに真摯に耳を傾けて下さるようお願いいたします。
めったに無い機会で市長に直接質問ができたので良かった。
もっと時間を長くしてほしい
市民のための福祉をよりすれば人もふえると思います。国県といわず、市でもできることが多くあると思います。駅を整備したら人が増えると思いません。
また参加させて頂きたいと思いました。何事も自分事として考えていかなければならない。自分の問題だと思いました。ありがとうございました。
高砂市のどこからでも、高砂市民病院に行ける公共交通を求めます。
高砂市よくしたい 住みやすい高砂市にしたいという思いは同じだなあと思いました
高砂はダメだなという言葉を封印して、遅れ、小規模をアドバンテージとして「比較優位性」を見い出してほしい。言語が人格もまちの性格も決めている。 ・教育 義務教育学校化の推進 まず高砂から教育研究所を併設して教員育成、学校経営のサポートと社会教育のレベルアップも 組織は希望者と兼務で IT 活用したマトリックス的経営でネット授業も。 ・駅についてはまず再定義 21 世紀の駅とは？ ・市民病院はシビアな手術系は他病院に依頼し、老年期（中高年）の医療、未病など他病院でやっていない診療科目に特色を出して行ってほしい ・市民プールは屋内で稼働率を高め、小学校のプール廃止と市民病院等と連携して、治療、健康づくりなど健保も使えるようなシステムも考えてほしい ・水道料金を上げなかったのは選挙目的。値上げ投資は評価しています。子供達が喜ぶでしょう。
普段よくわからない行政の事を聞かせて頂けてもっと高砂市をよくしていきたいという気持ちでいっぱいになりました。高砂市を次の世代へよりよくつないでいきたいです。
水道代値上げしないで下さい
ご苦労様でした。
市民の方々の熱意が感じられて有意義でした
本日はありがとうございました。大変わかりやすいご説明でした。なかなか具体的な政策については触れにくい部分もあったかと思いますが、精一杯ご回答下さり有難かったです。高砂市は小さな町ですし、市政をするにも大変なこともあるかと思いますが、よろしくお願いします
人生はなかなかむずかしい！ しかし又、楽しみも多く有る

YouTube を聞いていると、カメラのシャッター(?)の音がうるさく感じました。

質問者が話しているときに、市長が手元資料をめくると、その音声もマイクがひろって聞きづらかったです。話すとき以外はスイッチをオフにしてもらえませんか？

スマホでの視聴のせいなのか、アンケートの Q3 の答え方がよく分かりません。

「悪かった」の下に行に「良かった」とかいてありますが、もう少し分かりやすく表示してもらえませんか？

市役所以外の場所でもタウンミーティングもあったことはよかったと思いますが、そもそも、帆っとセンターのバスの停留所が無くなり不便な思いをされている方がいます。市の施設であるのに停留所がないというのは、市として恥ずかしいことだと思います。

移動支援について、早急に検討をしてください。出掛ける手段がないということは、まちが潤わず、元気な高齢者も引きこもってしまい介護認定を受ける年齢も下がってしまいます。

健康寿命を伸ばすためにも、高齢者(もちろん高齢者だけではありませんが)の移動手段の多様化と、買い物難民をこれ以上増やさないために、何か高砂市独自の仕組みのようなものを一刻も早く実現していただきたいです。